

迎春



登米市議会議長
千葉 清 昭



登米市長
布施 孝 尚

積極的な情報発信と スピード感ある市政運営を

明けましておめでとうございます。市民皆さまにおかれましては、すがすがしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は、市政に対して深いご理解と多大なご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。市民皆さまのお力添えをいただき、まちづくりの基本方針を示す「登米市総合計画」、そして、地方分権に対応する行財政運営に向けた「登米市行財政改革大綱」を策定することができました。また、市の骨格となるそのほかの計画なども策定することができ、市民皆さまとともに登米市として独自に歩み始めることができた年になったといえます。

特に、廃食油を再利用したバイオ・ディーゼル燃料（BDF）推進事業では、市民、企業、民間団体、社会福祉法人や行政が、できる範囲の役割をそれぞれで担い、それが効果的に機能したことで、協働の事業として非常に意義深い取り組みになったと考えております。環境保全はもちろんのこと、障害者の自立支援や公用車への使用による財政負担の軽減など、高い相乗効果が発揮できた事業となり、ご協力をいただいた皆さまに改めて厚くお礼申し上げます。

さて、地方行政を取り巻く環境は、依然として厳しい状況にあります。国庫補助・負担金、地方交付税改革と税源移譲による、いわゆる三位一体改革では、結果的に地方の歳入が大幅な減額となり、来年度以降さらに逼迫

した財政運営を強いられる見込みであります。また、来年度から始まる農政の一大変革といわれる「経営所得安定対策」への取り組みや地域医療の問題、さらに子どもたちの教育環境の整備など、重要な諸課題も山積しております。同時に、市民皆さまから寄せられる要望も多様かつ複雑化してきております。

昨年は財政破たんした自治体もありましたが、それを反面教師として限られた財源を有効に活用し、「身の丈にあった行政」を行うことが、持続的な発展につながる唯一の選択肢であると肝に銘じているところであります。

そのためには、市が持っている情報を積極的に発信し、市民皆さまと共有すること、従来の手法にこだわらない「協働のまちづくり」の観点で、スピード感のある市政運営が必要であると考えています。また、高次医療の問題、高速幹線道路網の整備や国と地方の役割分担など、わが市だけでは解決が難しい課題につきましても、関係する自治体と連携し、国や県に強く働きかけてまいります。

この一年は、市政運営の転換期と位置付け、重要な局面を迎えていると認識し、職員の間で、意識や対応力を向上させながら「夢・大地みんなが愛する水の里」の実現に向けて、諸施策を強力に進めてまいっている覚悟でございます。

本年が皆さまにとって、より良い一年となりますことを心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

総合計画実現に向けて 合併効果が表れる年に

明けましておめでとうございます。輝かしい2007年の新春を迎えられましたこと、市議会を代表して心からお祝いを申し上げます。

皆さまの大きな夢と希望を乗せてスタートした登米市も、まもなく3回目の新年度を迎えようとしています。今年も皆さまにとって良い年でありますように願っております。

さて、今わが国の経済は、バブル崩壊後の長い低迷期を脱して、かつての「いざなぎ景気」を上回る、戦後最長の景気拡大期間が続いているといわれています。事実、国税収入の伸びを背景に、本年度から2年連続で国債発行額を4兆円余りも減額すると報じられたことは、皆さま周知のとおりであります。

しかし、わたしたち地方に住んでいる者や自治体行政に携わっている者にとつては、まるで実感のない話であります。それどころか、以前より苦しくなったと感じている人がほとんどではないかと思われまます。国が進めた急速な規制緩和は、さまざまなひずみと格差拡大社会を生み出しており、中央と地方、都市と農村ばかりではなく、国民所得の上でも富裕層と貧困層の二極分化が進んでいます。

登米市の財政も合併以来、厳しい状況が続いております。地方交付税や国庫負担金の減額は、税源移譲分の増額と相殺しても、3年間で51億円余りに上るものと見込まれており、当面は財政調整基金の取り崩しなどによる財

政運営をしていかなければならないと考えられます。

こうした苦しい台所事情の中で、市ではこれから10年間の市政の指針となる、登米市総合計画を策定しました。この計画は、今後市が行う事業の中で上位計画となるもので、財政とのバランスを取りながら実施していくこととなります。今年度は合併4事業の一つである消防防災センター工事に着手し、新年度からは畜場の改築工事を予定しております。両事業とも登米地域にとって長年の懸案事項であり、ようやく実現の運びとなったことは、苦しいながらも合併効果が表れたといつてもいいものだと思います。

ただ、市長の提唱する「健康、安全・安心なまちづくり」の根幹ともいうべき、市立病院の再編を含む地域医療体制の確立については、議会でも調査特別委員会を設置して検討中であり、現在市が抱える最大の課題となっております。さらに、農政関係では新年度から始まる戦後の農地改革以来の大転換といわれている、農業経営所得安定対策への取り組みなど、難題は山積みされています。

わたしたち議員も、機会あるごとに市民皆さまのご意見をお聞きしながら、「夢・大地みんなが愛する水の里」の実現に向かってまい進する所存ですので、皆さまのお一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。新年のごあいさつといたします。